

2
女
字
リ
二
九
七
と
の
十
月
号

ロッキード事件
と中国の新聞

中嶋 嶺雄



中国で最大の発行部数をもつ新聞は、当然のことながら中国共産党の機関紙『人民日報』だろう、

と考えると、これは大きな間違いである。数年前、『人民日報』の国際部主任が初めてその発行部数を明らかにしたことがあったが、当時の発行部数は三百四十万部だとのことであった。人口を八億五千万とすれば、二百数十人に一部の普及率ということになる。



では、中国で最大の発行部数をもつ新聞はなにかというと、現在、七〇〇万の発行部数をもつといわれる『参攷(考)消息』である。この新聞は、新華社が毎日編集発行するタブロイド版四頁建てのれつきとした新聞であるが、幹部向けの内部新聞であって、題字の脇には「注意保存・不得外伝」と記されている。

新聞であり、まさに「敵を知り己れを知らば百戦危うからず」という立場から発行されているのであって、毛沢東もかつて『参攷消息』のもつ意義を大いにたたえたことがある(『省、市委員会書記会議の総括』、一九五七年一月)。このとき毛沢東は『参攷消息』の発行部数を四十万にすべきであるといっていたのに、今日では七〇〇万部も出ているというのであるから、その発展ぶりはまさに「大躍進」であり、『参攷消息』はおそらく、世界最大の発行部数をもつ新聞ということになるだろう。

『参攷消息』は、もっぱら外国通信社や外国の新聞の記事を伝える

こうなると、逆に、この新聞の「秘密性」は薄れるわけで、しばしば海外にも流出するし、私自身、昨年の訪中時に、ホテルのスタッフが『参攷消息』を読んでいるのを目撃した。そのホテルに常時泊っていた私の知人の話だと、ホテルのスタッフが『人民日報』や

『光明日報』などの新聞と一緒に、間違えてその知人の部屋に配ったこともあるという。『参攷消息』のこうした大衆化のためか、中国では、よりサーキュレーションの限られた『参攷資料』、さらには『極秘』という内部新聞が今日あるともいえる。



ところで、わが国は、このところロッキード事件で大騒ぎであるが、これはどの大事件であつても、『人民日報』は、いわゆるニュースを伝える新聞ではないので、報道しない。自由をもっている。日本の場合だったら、隣国のこんな大事件を報じない新聞など考えられないし、重大なニュースを他社に抜かれたら、それだけで大失点になるのだが、そこはさすが中国である。

ウォーターゲート事件の際には、『人民日報』がこれを「水門事件」としてあつさり報じはしたものの、ニクソンのスキャンダラスなイメージが詳しく伝えられたわけではないので、中国民衆にとつて、ニクソンは依然として米中接近を試みた「偉大な大統領」なのである。こうした状況があればこそ、本年初頭のニクソン訪中時に、中国民衆は彼を大歓迎したのだといえよう。



そこで、わが田中・前首相の場合だが、周知のように、田中・前首相は、日中国交を果した首相として中国で大変評判の高い人物である。そのためあつてか『人民日報』は今日にいたるまでロッキード事件を伝えていないし、田中逮捕さえ報じていない。もとよ

り、『参攷消息』の方は、重要な海外事件を漏らさないで、当然、この事件を報じているはずである。つまり中級幹部以上はロ事件や田中逮捕を知っているが、中国の一般民衆には知らされていないのである。

庶民宰相だといわれた田中・前首相であるから、次のステップとしては、中国を訪問して、中国民衆の大歓迎を受けるといふ道がなお残されている。もつとも、いまは保釈の身であるので、そのようなことが法のうえで出来るのかどうか、手続上のごとは私は知らない。

(東京外語大助教授)

好





革新 十月号 目次

★巻頭発言 重要な「財特法」の成立……………竹本 孫一 17

点 「金瀬事件」にみられた社会党腐敗の構造……………佐藤寛行

SPD政権の成果と西独総選挙の争点……………足立邦夫

焦 日本経済に対して強まる外圧と日本のとるべき道…蓮見博昭

特集 ■躍進への誓い——第十四回拡大中央委員会

不退転の決意で総選挙を闘おう

民社党第十四回拡大中央委員会あいさつ……………春日 一幸 30

総選挙アピール 日本の政治を正すために!

民社党衆議院議員候補者追加公認・第一次参議院公認候補者・宣言・海洋法に関するアピール

がんばれ、民社党 日常活動を 活発に行なえ……………会田 雄次 92

各党の安保政策を採点する 対立点を強調するだけの不毛の論議をやめよ……………上條 末夫 52

長沼事件控訴審判決と自衛隊 自衛隊の合・違憲問題には統治行為論を採用……………西 修 66

自社体制の破綻と新しい政治選択

自民・社会両党に代表された日本の政治は、深い失望と不信感を国民にうえつけた。この……………
 混迷を晴らすには民社党の躍進が不可欠だ。
 <対談> 岡野加穂留 和田 春生

自民、党内抗争と日本の政治 三木・反三木の抗争は、自民党の破綻を露呈……………中原 正一

活発だった議員団会議……………民社党京都府連

随 想 一新の夢成り難し……………進藤純孝
 ロッキード事件と中国の新聞……………中嶋嶺雄